

パナソニック(株)

製品種類: テレビ

機種名: TV-65Z95B

販売年度: 2025年



評価項目(アセスメント評価項目)

番号	取組項目	説明
1	減量化・減容化	
2	再生資源・再生部品の使用	
3	包装	
4	製造段階における環境負荷低減	
5	輸送の容易化	
6	使用段階における省エネ・省資源等	✓
7	長期使用の促進	
8	収集・運搬の容易化	
9	再資源化等の可能性の向上	
10	手解体・分別処理の容易化	
11	破碎・選別処理の容易化	
12	環境保全性	
13	安全性	✓
14	情報の提供	
15	LCA (ライフサイクルアセスメント)	

製品アセスメントの概要

有機ELテレビの普及が拡大する中、商品の消費電力の大半を占めるパネル改善の導入を行った。Z95シリーズへ新規技術を導入する事により年間消費電力の削減を実現。

改善の具体的内容

[] 中の数字は関連する評価項目の番号です。

1. 使用段階における省エネ・省資源等 [6]

【新規】

(1)有機ELパネルの効率化

有機ELデバイスの発光層を3層から4層に進化させることにより発光性能を改善。さらに「3次元映像信号解析」と「温度センサー」によるパネルの発光状態を画素毎に管理する技術を継続採用。パネルの発光効率を最大限引き出すことにより年間消費電力量を234kWh/年→210kWh/年と約10%削減※。

※比較対象機種：TV-65Z95A

(2)「エコナビ」による以下の節電機能を継続採用

- ・部屋の明るさを検知し自動的に画面の明るさを調整（環境光センサー機能）
- ・映像信号がない場合は自動で電源オフし、テレビの消し忘れによる無駄な電気も節電（無信号自動電源オフ機能）

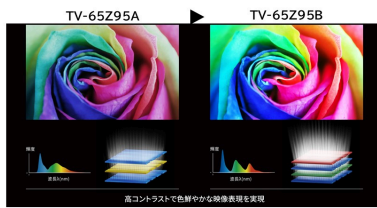
2. 安全性 [13]

転倒防止スタンドを継続採用。地震に強く、倒れにくい吸着式の「転倒防止スタンド」を継続採用。スタンド底面に設置面から離れる力が働くとテレビ台にしっかり吸着し転倒を防ぐ。

構造等の図

有機ELパネルの発光層の進化

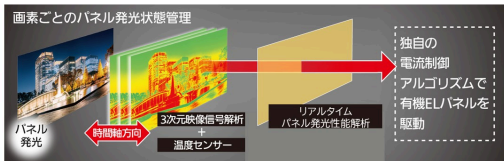
従来3層だった発光層が4層に増え、さらに青色の蛍光体を最新のものに変更することで、光の波長を最適化。これにより、発光効率の向上によるコントラスト向上と光の純度アップによる広色域化を達成しました。



有機ELパネルの発光層進化

有機ELパネルの高効率化

「3次元映像信号解析」と「温度センサー」により、パネルの発光状態を画素ごとに管理。独自の電流制御アルゴリズムでパネルを駆動させることに加え、リアルタイムでパネル発光性能を解析し、フィードバックすることでパネルの発光性能を最大限に引き出せます。



有機ELパネルの高効率化